

日頃の準備と心構え

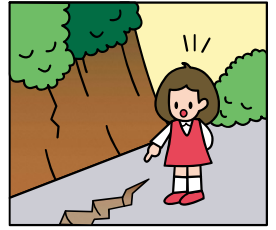
避難場所は決まっていますか？

市の指定避難場所以外にも、緊急に一時避難する場所を自治会や家族で決めておきましょう。



ハザードマップで危険箇所を知っていますか？

自宅周辺や避難経路上の危険箇所を日頃からチェックしましょう。



前兆現象に注意していますか？

危険な場所には近づかないようにし発見したら市や県へ報告しましょう。



雨に注意していますか？

1時間20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分注意しましょう。



避難のポイント

早めの避難を心がけましょう



身の危険を感じた場合は、避難情報を待たずに早めに避難しましょう。

積極的な情報収集を



テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の気象情報や災害情報、避難情報を積極的に入手しましょう。

非常持出袋の準備を



非常用持出品はリュックサック等にまとめておきましょう。また、内容を定期的に確認しましょう。

避難は地域で助け合って



日頃から地域のコミュニケーションをとり、避難の際は地域で声をかけあいましょう。

避難は動きやすい格好で



持ち物は最低限とし、両手は自由に動かせるようにしましょう。また長靴ではなく履き慣れた運動靴で避難しましょう。

逃げ方を確認しましょう



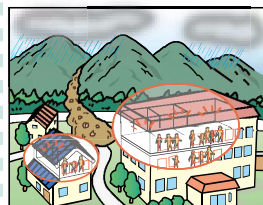
災害時には危険箇所には近寄らず、早く土砂災害警戒区域等の外に出ましょう。土石流はスピードが速いため、土砂の流れる方向とは直角に避難しましょう。

ひとり暮らしや要配慮者の方はいますか？



一人暮らしや災害時に支援が必要な高齢者・体の不自由な人などの避難には、地域のみんなで協力しましょう。

逃げ遅れた場合には



土砂災害からは立退き避難が原則ですが、安全に避難できない場合は崖などから少しでも離れた場所へ移動しましょう。（緊急安全確保）